

発表要旨

舌の切れたオオアリクイの飼育について

山口進也

(横浜市立よこはま動物園)

よこはま動物園では現在、オオアリクイ 1頭(2001年7月3日生まれ)を飼育している。2009年9月9日夕方、その個体が口から多量に出血しているのを確認した。その翌日より、口から舌を出すところが見られなくなり、採餌もしなくなった。4日後、麻酔下にて口内を調べたところ、舌が途中で切断されているのを確認した。

舌を口外に出せなくなったため、これまでと異なる給餌法をとらざるをえなくなり、いくつか試みていたところ、過去に海外で同じような事例があったという情報を入手した。その当時の給餌法などを参考に給餌を試みたところ、10日後に初めて少量の採餌が確認され、20日後には安定量採餌するにまで至った。その経過を報告する。